誰もが住みたくなるような未来の武豊を考えよう！

第1号

武豊町まちづくり会議　ニュース

みなさんこんにちは！　だんだんと寒くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？

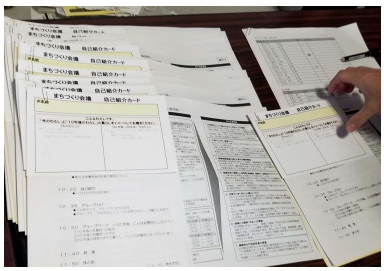
武豊町では、新しい総合計画の策定に向け、住民の皆さんと一緒に、これから 10 年間のまちづくりを話し合い、考える『まちづくり会議』を開催することになりました。

初回となる第１回まちづくり会議～10 年後の武豊町の理想のまちと暮らしを考えよう！～をさる 11 月 16 日（土）に武豊町役場２階第２～４会議室にて開催しました。

本まちづくり会議のメンバーは、町民の皆様から無作為に選んで案内状を送付し、その中から応募いただいた方、町広報紙での募集に対して応募していただいた方、各種関係団体から推薦していただいた方、町役場職員の有志の老若男女計３２名で構成されています。

第1回 まちづくり会議「10 年後の武豊町の理想のまちと暮らしを考えよう！」を開催

■日　時：令和元年 11 月 16 日（土曜日）10：00～12：00
■会　場：武豊町役場　２階　第２～４会議室
■参加者：27 名
■プログラム：



10:00　① 開　会
　・まちづくり会議の趣旨説明
10:05　② 総合計画とは？
　・第６次武豊町総合計画の策定について
10:20　③ 自己紹介
　・参加者一人ひとりから自己紹介
10:35　④ グループ分け
10:50　⑤ グループワーク～10 年後、こんな武豊にしたい！～
　・10 年後のまちへの期待と不安、10 年後の理想のまちや暮らしを考える
11:40　⑥ 発表
11:50　⑦ まとめ

① 開　会

最初に、武豊町企画政策課近藤課長より、まちづくり会議の開催にあたってのあいさつを行いました。

町では、町の最上位計画である総合計画に基づいてまちづくりを進めており、住民等に対する各種意識調査、地区別懇談会など住民の声を聴きながら第６次武豊町総合計画の策定作業を進めており、今回も将来のまちづくりを、みなさんと一緒に考えていくために、本会議を開催していくことになったことなどの趣旨説明を行いました。

② 総合計画とは？

町企画政策課より、第６次武豊町総合計画の策定についてのスケジュール、これまでに実施した５種類の意識調査の結果、第６次武豊町総合計画の施策体系（枠組み）について説明を行いました。

総合計画は福祉、教育、子育て、防災など、多岐にわたる分野を扱う 10 年間の町の総合的な計画であり、町の最上位になるまちづくりの指針となることなどを説明しました。

③ 自己紹介

ここからは一般社団法人地域問題研究所のスタッフに進行をバトンタッチしました。

今回が第１回目ということもあり、参加者同士でも知らない方が多いことから、参加者同士の交流、関係性を高めるために、参加者一人ひとりから、「お名前」、「お住まいの地区」、「武豊の好きなところ」などを語っていただく自己紹介を行いました。

短い時間での自己紹介でしたが、参加者それぞれの状況や武豊への思いを少しだけ共有することできました。

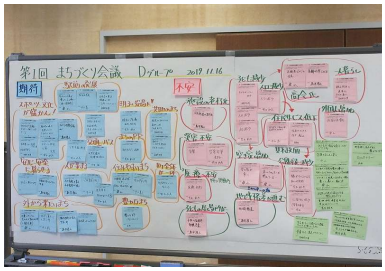
④ グループ分けと、今のわたしと 10 年後のわたしの紹介

本会議を効果的に進めることができるよう、４つのグループに分かれてグループワークを行うため、くじを引いてＡＢＣＤのグループに分かれていただきました。

ここからはグループごとに、一般社団法人地域問題研究所のスタッフがファシリテーターとなって、まずは自己紹介を兼ねて、１０年後の未来を想像してもらうために、「今のわたし」と「10 年後のわたし」を一人ひとり紹介していただきました。

「今のわたしは、子育て真っ最中。でも 10 年後は子育てをひと段落し、ボランティアでもしながら海外、国内を飛び回っている？」「今は専業主婦の３児のママ。10 年後は趣味も気にせず行い、今度は子育てをサポート側で協力したい！」、「今は家族４人での暮らし。10 年後は親の介護が始まっているかも？」など、今の暮らしと 10 年後の暮らしをイメージして語っていただきました。

⑤ 10 年後、こんな武豊にしたい！【グループワーク】



最初に、「10 年後の武豊のまちへの期待」と「10 年後の武豊のまちへの不安」について考えていただきました。

「まちへの期待」では、「公共交通が充実している」、「子育て支援が日本中から注目されている」、「若者が夢や希望をもってチャレンジできる」、「スポーツ、文化、芸術活動が盛んになっている」、「商業施設が充実している」、「町外から人が集まるまちになっている」、「多世代が一緒になって様々な地域活動が行われている」、「住民が積極的にまちづくりに関わっている」など、将来への期待が語られました。

また、**「まちへの不安」**では、「管理ができず公園が減少している」、「子どもが少なくなって、学校も統廃合している」、「一人暮らしの高齢者が増えたり、高齢者施設が足りなくなる」、「空き家が増加する」、「耕作放棄地が増える」、「人口減少や高齢化で地域のコミュニティが低下する」、「税収が減るため、町民税が増える」など、暮らしていく上での不安が語られました。

さらに、これらのまちへの期待を高め、まちへの不安を払拭した**「理想的なまちや暮らしのイメージ」**では、「誰もが暮らしやすいまち」、「安心・安全なまち」、「笑顔

の絶えない明るいまち」、「子育てしやすいまち」、「みんなで支え合うまち」など、理想的なまちや暮らしのイメージが語られました。

⑥ 発表

各グループで話し合った 10 年後の「まちへの期待」と「まちへの不安」、「理想的なまちや暮らしのイメージ」を参加者に発表していただきました。

⑦ まとめ・次回の案内

次回は第６次総合計画の分野別施策ごとの４つのグループに分かれ、分野別のまちづくりの取り組みアイデアを考えていくことなどを説明しました。

また、参加者には本会議の感想・評価を把握するアンケートにも協力いただき、２時間にわたる第１回まちづくり会議が終了しました。

◆次回は、１２月２１日（土曜日）午前 10 時から武豊役場２階第２～４会議室で開催します。

◆「①都市環境」「②子ども子育て」「③安心・安全」、「④環境」の４つのテーマに分かれ、まちづくりの取り組みアイデアについて考えていきます！

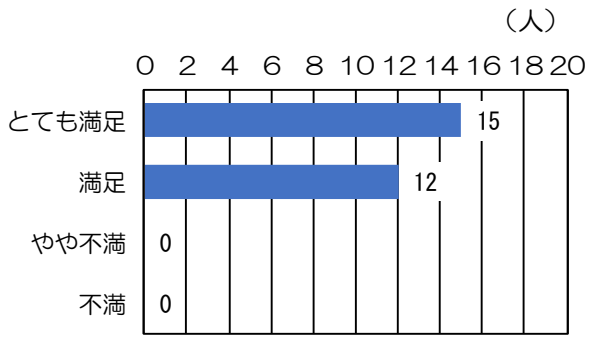
【問い合せ】武豊町役場　企画政策課　担当：森田・福谷
TEL ０５６９-７２-１１１１（内線５１２）　FAX ０５６９-７２-１１１５
E-mail　kikaku@town.taketoyo.lg.jp

第1回　武豊町まちづくり会議　参加者アンケートの結果

参加者 27 名から回答

Q1　本日のまちづくり会議の満足度は？

まちづくり会議の満足度は「とても満足」が 15 名、「満足」が 12 名で、全員が概ね満足する回答になっています。



≪満足度を評価した理由≫

【とても満足と回答した方の理由】

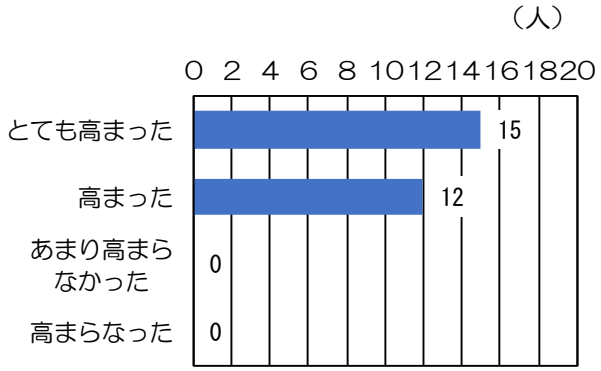
- 参加者からの色々な意見が聞けて良かった。これからより具体化され、それがまちづくりに生かされていけばいいなと思う。
- 参加者の方々の思いが聞けたこと。様々な分野の方とつながれたこと。
- 他の人と交流できて良かった。
- 色々な意見、思いが聞けた。自分の思いも少しではあるが、町へ届けれたと思う。
- 色々な方の考えていること（自分の意識していること）が聞けてとても参考になりました。
- 色々な人の意見を聞くことができ、町民の意見を取り入れて会議をすることができた。
- 小グループだったので意見交流ができた。とても和やかな空気で進みました。
- 前向きな意見が多かった。参加者の方たちは、自分達で何かをしようという意気込みを感じた。
- 町民の方の生の声が聞けて良かった。行政職員だけでは出ないような意見があった。
- 住民と役場や公の方が活発に話し合えて良かったです。役場の方が子育てを十分にできる、楽しめる町こそ、武豊の未来だと思います！
- あたしが考えたことが挙げられてとても嬉しく思っています。
- 活発な意見交換ができた。色々な人の話を聞けたし、否定することもなく、良い話し合いができたので良かったです。
- 町民の方と自分が持っていない意見で交流することができ、考えを広げることができました。
- 未だ武豊のことについて良く判っていませんが、自分達の意見を各自尊重し発言できる機会がありとても良いと感じました。

【満足と回答した方の理由】

- 時間的にグループワークの内容を掘り下げる時間が少なく思った。
- 色々な人と話ができた。
- 色々な世代の沢山のためになる意見を聞けて良かった。
- 多くの方の意見や考えを聞けて良かった。
- 若い人の意見を聞くことができ参考になった。
- 武豊町についてのお話を住民の方とできたことが何より良かったです。
- 参加者の方から活発な意見が出ていた。
- 全員が意見を言える場だったのでとても満足です。
- 日常業務から少し引いて住民の方々と武豊町の将来について話すことができて有意義な時間でした。
- 町民の思い、考え方が理解できた。

Q2　未来の武豊のまちづくりへの興味や関心は高まりましたか？

未来の武豊のまちづくりへの興味・関心は「とても高まった」が 15 名、「高まった」が 12 名で、全員が概ね高まったと回答する結果になっています。



Q3　本日の会議で「学んだこと」や「印象に残ったこと」は？

- 少子高齢化に伴う問題点についての取り組み方など。公園の活用など、どのグループからも出ていた。
- 色々な年代の方と話すのは勉強になりました。
- アンケートのような集計された意見ではなく、地域在住・在勤の生の声を聴けて良かったと思う。特に公園でのイベント開催で賑わいづくり、協働を行政に求めている事、直接聞けて参考に。
- まずは思いを集めるところから、よりよりまちづくり、計画づくりができるのは良いなと感じました。
- 今後の少子高齢化が大変と思った。
- 学校（クラス）が、減ってしまうのではないか（少子化）
- 自分にはない視点からの意見もあり面白かった。未来の町のために住民が意見を出し合うのは大切だと感じた。
- 不安や期待されることなど、町民、行政ともに大きな差異がないと感じました。
- 町に対する思いが皆同じだと感じた。
- みんなで意見を出し合って考えることの大切さを感じました。
- 皆さんが真剣に問題を捉えていると思った。
- 自分が思っていない人の意見を聞くことができた。
- 7 人グループでしたが、どの方も未来のまち、自分のまちについて考えて下さっているのだなと思いました。
- 大型ショッピングモールは武豊町にはいらないのでは？みんな車を持っているし、騒がしくなるからという意見があって意外でした。
- 我々行政が思っていることと、住民の方の思っていることに多少のズレがあることが印象的でした。
- 参加者の方が人とのつながりを魅力として感じてみえるところに未来があるなと思いました。
- 多くの町民の方が武豊町のことを人が温かいと思っていること。
- 10 年後の不安はもう既に起きているということだと知りました。若者が残りたい、帰ってきたいと思えるまちに！
- 人との交流かな。
- 多くの若い世代が地域の事に関心を持って積極的に関われる人がいることを知れた。希望があると感じた。
- 家族や年代によって気にすることや問題に感じていることが違うので、別の視点で町政を見ることができたと思います。
- 色々な思いにどのように応えていくか。
- 武豊町独自のスポット無し。一部遊歩道の整備の無さ。
- 住民の方々も町の将来に高い関心を持っていること（不安も期待も両方）
- 良いまちづくりをするには参加者の思いは同じだと感じた。

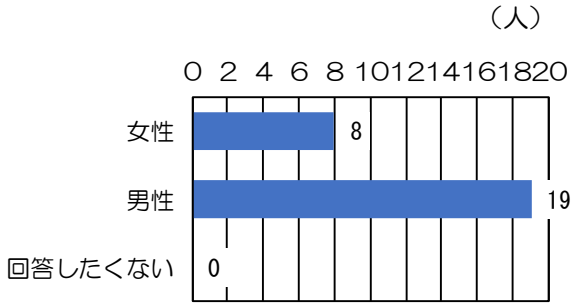
Q4　次回以降に検討したいことなどのご意見やご提案！

- 町外の方の良いところや、変えたい事業を聞きたい。
- 病児施設について
- 都市マス策定に際しても意見など参考にしたいため、案内したい。
- 武豊町をアピールできるものなど（外から呼べる施策など）
- 幅広い分野の話になると思われる。全てに手を付けることができるか、ある程度テーマを絞って行うかで変わると思われる。目で見て実感できる計画を作っていただきたい。
- 10 年後も住みたいまちになるように、今後も考えていきたい。
- 外でのイベントが増えるといい。日光を浴びて健康に！
- 現実可能な意見でなくても良いため、幅広い意見が聞ければと思います。
- 今日だけでも良い意見が出ていたので、ぜひ第６次の総合計画に活用してもらいたいです。
- 予定通りで良いかと。
- 小さな、具体的な、実現できることを見出していく。行動に変えていけるように話し合いたいです。
- 前回と同じことを。
- 今日出た意見から、より具体的に進んでいけるようにしたい。
- 総合計画にどのように意見を反映させていくか。
- 少しずつでも具体的な話ができたら良い。

Q5　回答者の属性

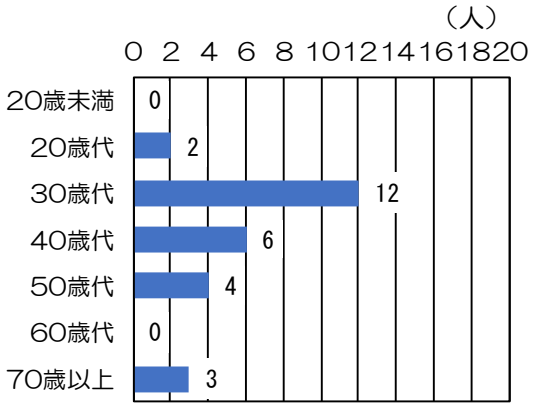
【性別】

回答者の性別は「女性」が８名、「男性」が 19 名となっています。



【年齢】

回答者の年齢は「30 歳代」が 12 名で最も多く、次いで「40 歳代」が６名、「50 歳代」が４名と続いています。



第1回　武豊町まちづくり会議　のまとめ

≪10 年後のまちへの期待≫

分　野	10 年後のまちへの期待	
都市基盤	駅前の再開発による賑わいのあるまち	駅前が再開発で賑わいがある場所になってほしい
		駅前の発展
	蔵などの町並みが残るまち	蔵っぽい街並み
		味噌蔵が残っていてほしい
	公園などが充実したまち	烏山に展望台を設置してほしい
		公園に人が一杯
		総合公園がほしい！
		人々が気軽に外に出て交流し、ゆったりと時間を過ごす場所は家の近くや公園、公共の場など
	公共交通が充実したまち	気軽に出歩ける交通環境（歩道、照明、バス）
		公共交通施設の充実
		公共交通の利便性の向上
	住みやすいまち	自然が多いけど便利なまち
		住みやすいまちに！
		税収が減少のため、コンパクトなまち
		比較的住みやすいまちではなく、本当に住みやすいまちに！
		程よい田舎
子ども 子育て	子育てしやすいまち	子育て支援を日本中から注目されている
		子育て施策を充実して若い世代の集まる活気のあるまち（保育園の整備、医療費負担軽減）
		子育て世代家族の入居率増加
		子ども連れでも歩きやすい、出かけやすいまち
		もっと子育て世代の方々が孤立を感じない町になっているといい
		待機児童受入れ先の増設
	子ども、若者が暮らしやすいまち	子どもが安心して暮らせるまち
		子どもが暮らしやすいまち
		子どもが健康で夢が持てるまち
		子ども達が将来の夢や職業観が描けるようなイベントや催しが増えると良い
		若者が住みよいまち、お年寄りに優しいまち
		若者が夢や希望を持って色々なことにチャレンジできるシステムができ、大人がそれをサポートする
学校教育・ 生涯学習	地域に開かれた学校があるまち	地域に開かれた学校
	高齢者が活躍できるまち	お年寄りの活躍できる場（生涯学習）
	スポーツ・文化が盛んなまち	芸術のまち！
		趣味の場が充実している（スポーツ・文化）
		スポーツ施設、公園の充実
		スポーツ振興計画が作られている
		たまり・味噌を世界規模に！
		伝統・文化についてしっかり語って自慢できる住民が育っている！
		伝統文化を知らせ、受け継ぐ若い世代の育成
		文化活動が盛んになり、心豊かな時間を過ごすことができるまち
		みんなが気軽に文化に触れることができる
安全・安心	安全・安心に暮らせるまち	安全に暮らせるまち
		今以上に豊かなまちに！
		ちかんがいなくなれ！
健康・福祉	高齢者が暮らしやすいまち	各地区に高齢者施設の建設
		車の運転をしなくても暮らせるまち
		高齢者がいきがいを持って活躍できるボランティアやイベントへ参加するまち
	健康づくりのまち	町民全体の体力アップ！（健康づくり）

分　野	10 年後のまちへの期待	
産業・交流	商業・レジャー施設が集積したまち	今以上にお店が増えていると嬉しい！(特に飲食店)
		大型ショッピングモール
		大きな商業施設があるまち
		商業施設の充実(駅前再開発など)
		商業地域(個人経営)が少し増える
		日用品を買える環境がある(近所にスーパーなどがある)
		量販店、スーパー等の維持と充実
		レジャー施設の充実(温水プールなど)
	人が集い、賑わう観光のまち	遊びに来てくれる人を増やす
		武豊に行こうと思われる魅力あるまちに！(観光面)
		他市町から来訪されるような(目的)のスポット開設
		人がたくさん集まるまち(外から)
		人が集まるまちに！
		人が気軽に集まれる場所が増える
		老若男女が交われるイベントが多いまち
		みそたろうが定着(PR部分)観光面の充実
		武豊町のマスコットキャラクター「みそたろう」の活用
	産業活動が盛んなまち	JA拠点を活性化。意外と来客が多い
		企業誘致
		企業を誘致して活気のあるまちになっている。工業団地の整備
		地産地消の充実(農業等の産業発展)
まちづくり・地域経営	暮らしたくなるまち	海外から働きに来ている人が永住したくなるまちに！
		現在の中高生が戻ってきたくなるまち！
		武豊のいいところをはっきり言える、自慢できる
		定住者の多いまちになっていると良い
		若い人が多いまち！
		外から来たい！と思われるまちに！
		働き世代が住みやすいまちに！
	多世代が集い、交流するまち	色々な地域活動が様々な年代ごと、年代が混ざり合って行われている
		子どもも若者も、大人も元気で関わり合っているまち
		困っていることを気軽に話せる環境
		多世代、多民族が隔たりなく関わりあう
		町全体が一つになっている。
		行方不明の方がすぐに見つかるまち
	みんなで支え合う住民活動が活発なまち	今ある行事が継続している
		仕事と地域活動のバランスがとれる
		住民が積極的にまちづくりに参画している
		住民がまちづくりの真ん中にいる住民自治のまち
		地域のみんなが支え合う
		前向きに！活力あふれる！
		役場の職員と住民とが協働で、地域の広場でイベントなどの企画をする
		良好なご近所関係ができているまち(防災・防犯)
行財政	広域連携のまち	武豊独自でなくてもいい。知多半島の一部、真ん中ならではのモノ、コト
	行政サービスが充実したまち	明るい役場に！あいさつ、対応等で
		マイナンバーカードの活用で事務の効率化

≪10 年後のまちへの不安≫

分　野	10 年後のまちへの不安	
都市基盤	公園や緑の減少	新しい住宅地で緑が少なくなっている
		公園などが減少（災害時に避難できる広場が減少）
子ども 子育て	子どもの減少 子どもの居場所の減少	子育て世代家族の入居率低下
		子どもの居場所、待機児童が問題に。
		子ども達がこの地域に残る？暮らし続けるか？
		子どもが少ないまち
		子どもの減少
		子どもがいない地区が出てくる
		高齢化し、次につないでいけるのか？若者の担い手不足？
		若い人の雇用
		若者が少ないまち
	子どもの貧困	学費や医療費など経済的な問題が子どもの将来を左右する
学校教育・ 生涯学習	学校の統廃合、クラス数の減少	子どもの数が減って小中学校が統廃合されたりする
		学校(富貴)が１学年1クラスになる
		子どもの減少による学校等の数が減る
	ひきこもり・不登校児	ひきこもり、不登校児が増加する
健康・福祉	医療体制の不安	医療体制。特に災害時の受入れ
		病院の減少
	高齢者の増加	高齢化率が上がる
		高齢者ばかりになっている
		子どもが遠方に住み、親子関係の希薄化（一人暮らし高齢者が増える）
		孤立する人、家族の増加
		ひとり暮らしの高齢者が増える
		住民が高齢者ばかりになる
	高齢者施設の不足	高齢者施設、設備の低下
		高齢者のための施設やサービスは大丈夫？？
		高齢者世帯の増加、受け入れ先の不足
		介護に困る人が増える
	生活に困る人の増加	生活(お金)に困る人が増える
	民生費の増大	高齢化による福祉費の増大
安全・安心	空き家の増加	空き家が増えて寂しい街並みになっていないか
		空き家だらけに
		空き家が多くなっている
		空き家
		昔の地区が空き家ばかりになる
	交通事故の増加	事故率が愛知県ワースト１位
		交通事故の増加
		事件や事故が多い
	災害への不安	災害
		災害対策が進まない
		しょっちゅう水害
	犯罪の不安	子どもの連れ去りや高齢者の振り込め詐欺
	施設の老朽化	公共施設の老朽化
産業・交流	店舗の減少	店のシャッターが閉まっている
		食料品店舗の減少
	耕作放棄地の増加	耕作放棄地の問題
		遊休農地の増加
	活力低下	少子高齢、人口減少による活力低下
	地域イベントの低下	地域イベントが少ないまち
環境	環境問題の発生	環境汚染（クリーンセンター等）
		公害発生の増加

分　野	10年後のまちへの不安	
まちづくり・地域経営	人口減少、町外への流出	人口減少
		人口減少
		人口減少
		人口の減少
		町外への流出
		半田へ吸収
		若い世代の減少
		若い人が町から出ていってしまう
		若者が少ない
	外国人の増加	外国人の増加
		日本語をしゃべれない外国人が多くなっている
	地域コミュニティの低下	区加入者の減少
		新しく入ってきた人達との関わり方
		住民同士のコミュニティ活動が少なくなって、バラバラで助け合いが無くなっている
		コミュニティが成り立たない
		福祉等の担い手不足
		ボランティアをする人が増えない
		荒れた雰囲気、ほっこりを感じられない、町を愛する人が少ない
		住民同士の関わりがない
		人と人とのつながりが希薄化
	地域格差	人口減少、少子高齢化で地域格差ができる
行財政	住民サービスの低下	住民サービスの低下、廃止へ！
		人口減少で税収が減り、行政サービスが低下する
	税収の減少による増税	少子高齢化で人口が減少、税収が減少
		町民税の増加
	武豊町が存在しているか	町の合併

≪10 年後の理想的なまちや暮らしのイメージ≫

タイトル	理想的なまちのイメージ	理想的な暮らしのイメージ
誰もが暮らしやすいまち	子ども、若い人から高齢者まで暮らしたいと思ってくれるまち	次世代に遺すもの、こと、不安なくいたい
	子どもが希望や夢をイメージしやすく、高齢者が暮らしやすいまちづくり	みんなで協力しながら意見を出し合い、よりよい町になるよう、サポーターになる感じ
	町に活気があり、老若男女で笑いがあふれるまち（公共福祉施設、インフラが整備されている）	歩きでも不自由のない暮らし
	どの世代の住民も豊かに暮らし、町外の人から「行きたい」、「住みたい」と思われるまち	イキイキした町民の方たちと一緒に楽しく暮らし、働く！
	みんなが幸福を感じることができるまち	笑顔のあふれる暮らし
安心・安全なまち	安心、安全で不安なく子どもから高齢者まで夢を持って楽しく暮らせるまち	自分の事は自立しつつも、必要な時は助け合いながら穏やかな暮らし
	安心できるまち	自然と共にのんびり
	町外から住んでみたい、住みよいまち、地震や台風に安全なまち	お年寄りが安心して暮らせるまち
いきいきとしたまち	町民が活き活きとしている、子どもから高齢者の交流ができるまち	健康で幸せを感じられる暮らし
	人が活き活きとし、集まるまち	地域と関わりながら生活する
笑顔の絶えないまち	いろいろな世代、いろいろな国の人がニコニコ歩いているまち	信頼関係の中で安心して暮らしている
	誇れる町並み、笑顔の絶えない明るいまち	他市町村へ出向かなくても武豊町内ですべて事足りる
子育てしやすいまち	子育てしやすい活気のあるまち	子どもがスクスク育つまちでの生活
	子どもが沢山なまち	子どもを見守る暮らし
	子育てが楽しいまち	自分の子どもだけでなく、関われる暮らし
支え合うまち	行政と住民が協力できる明るいまちづくり	買い物、病院、娯楽など、町内で済ませられたらいいな。
	子どもからお年寄りまでがみんなつながっている、支え合うまち	地域の中で活躍する暮らし
	みんなが前向き、支え合うまち	忙しくも充実している暮らし
住みよいまち	今よりも住みよいまち	公私ともに充実した暮らし
	生活する上で必要十分な基盤、サービスが整っているまち	愛着を持ち、満足できる暮らし
	知多の真ん中、武豊町	移動、住みやすさ、すべてがほどよい暮らし
つながりのあるまち	「た」しい行事が多く、「け」いかんが良く、「と」にかく、「よ」い人の多いまち	人と人のつながりがある暮らし
	生活する近くに緑があり、気楽に出かけ、時間を過ごすことができる、人と人がふれあい、文化活動を楽しむことができるまち	時間があれば散歩し、音楽などの文化活動に触れ、ゆったりと過ごす
バランスのとれたまち	自然環境と生活環境のバランスがとれているまち	ストレスなく不便さを感じない暮らし
魅力的なまち	散歩していて楽しい町並み、風景	公園で日向ぼっこのできる豊かなまち
	展望台とか、レストラン公園、水族館	
活気があるまち	町全体に活気がある豊かなまち	ストレスフリー
働けるまち	町内で働けるまちづくり	充実した生活環境が送れる